

油糧用ヒマワリにおける効率的な除草体系

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

普通畑作物 - その他 - 雑草防除
分類コード 02-99-20000000

2 担当者

平山孝

3 要旨

ヒマワリ栽培では、生育初期に雑草害を受けやすいため、除草剤散布と耕種的除草法とを組み合わせた除草体系について検討した。播種直後の除草剤散布と1ヶ月後の中耕培土を体系的に実施することで、生育初期の雑草発生を効果的に抑えられることが明らかになった。

(1) 播種(直播)直後にトリフルラリン乳剤を散布することで、1ヶ月後には60%以上の除草効果が得られた。

(2) さらに、播種1ヶ月後に中耕培土を行うことで、その2週間後には約85%の除草効果が得られた。この時点でヒマワリの草丈は約120cmになっており、これ以降の雑草害は発生しない。

4 その他の資料等

なし